

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成27年7月24日（金）

研究課題	クニマスの生態解明及び増養殖に関する研究	
研究期間	平成24年度～26年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.6
	2 目標の達成度	3.6
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.6
	4 今後の発展性	4.4
	5 総合評点	4.1
<p>本県におけるクニマスの発見により、その保存と活用を探る研究であり、生息状況、生息条件、養殖などについて画期的な成果が得られていることから、大いに評価できる。引き続き、今年度からの新規課題の中でこれまで得られた知見の安定性や精度の向上に努めてほしい。</p> <p>養殖に関しては、脆弱性をどのように把握し、その対策を講ずるかを検討する必要がある。また合わせて種の安定保存に寄与すべきである。</p> <p>さらには、将来的に地域の振興に結びつけるため、視覚的な価値や食材としての価値などについても異なる側面から研究し、ブランド化を図ってほしい。</p>		